

科目名	日琉交流史		英文表記	History of Japan・Ryukyu Relations		平成26年3月13日			
科目コード	6005								
教員名:下郡剛					作成				
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			専1	選択	学修	2単位	講義	前期	
科目目標	沖縄地域社会の理解を目的とし、日本本土との人々との移動に伴って生じる、文化・歴史の関係性についての認識を深める。								
総合評価	①試験を行い、その試験結果によって理解度を評価する。②PBL班編制を行い、フィールドワーク対象について、協力しあってレポートを作成し、評価する。フィールドワークは3回行うが、その中から2テーマを班単位で選択することとする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	沖縄地域社会の理解を深める。(機B-2、生物B-2)			⇒	試験による評価		90%	
	②	自ら選択したテーマについて、根拠を提示しながらプレゼンを行う。(機B-4、情B-3、メディアB-2、生物B-3)			⇒	PBLによる評価		10%	
	③				⇒				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
				◎	JABEEプログラム教育目標	B-2、B-4	B-3	B-2	B-2、B-3
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	0	0	0	0			
基礎的理解						0			
応用力(実践・専門・融合)						0			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。 フィールドワークの手法を取り入れることで、特に沖縄北部地域が日本本土との交流に果たした役割をリアルに認識できるよう努める。 フィールドワークを行う必要上、受講者の人数制限を行う。人数は公用車で引率できる学生数とする。								
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス	2	授業内容とその進め方等を説明する		
2	平安・鎌倉時代の日本仏教	2	琉球における仏教文化の母体となった、日本仏教に		
3	琉球への仏教の伝来	2	近世期の琉球仏教の概要を知るとともに、それが日		
4	琉球仏教の展開	2	日本から伝来した仏教が、古琉球期に、いかに琉球		
5	僧侶を介した日本と琉球の文	2	日琉禅僧の媒介としての堺商人を取り上げ、禅僧と堺		
6	補陀落渡海と日秀	2	琉球への仏教の伝来と定着の上で、大きな役割を果		
7	漂到流求国記を読む1	2	漂到流求国記を読むことで、ヤコウガイ・赤木等を通		
8	漂到流求国記を読む2	2	漂到流求国記を読むことで、観音信仰について学び、		
9	フィールドワーク1ー漂到流	2	琉球大学図書館が所蔵する漂到流求国記コロタイプ	レポートの作成	
10	フィールドワーク1ー漂到流	2	上記調査について、漂到流求国記コロタイプ複製本	レポートの作成	
11	フィールドワーク2ー金武観	2	「補陀落渡海と日秀」での授業で得た知識をもとに、	レポートの作成	
12	フィールドワーク2ー金武観	2	上記調査について、観音寺への往復などで多くの時	レポートの作成	
13	フィールドワーク3ー円覚寺	2	日琉文化交流上大きな役割を果たした琉球臨済宗に	レポートの作成	
14	フィールドワーク3ー円覚寺	2	上記調査について、円覚寺跡への往復などで多くの	レポートの作成	
15	その後の日秀	2	補陀落信仰に基づき、琉球に渡海した日秀は、その		
期末	期末試験	[2]			
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23	後期中間試験(行事予定で変更可)	2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	フィールドワーク3回中の2回を選択し、レポートを提出する。			各20時間×2回	
②					
③					
備考欄					
<ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)